

「筑波大学附属病院ひたちなか社会連携教育研究センター」開所式

を開催

本院では、4月27日（水）に、「筑波大学附属病院ひたちなか社会連携教育研究センター」開所式を開催しました。

本センターは、昨年11月に本学と㈱日立製作所で社会連携講座設置の協定を締結したことに基づき、水戸以北の医師不足解消と地域診療の拡充、教育・研究を行い永続的な地域医療の発展を目的に設置されました。

当日は、ひたちなか総合病院内を視察後、場所を移して開所式が開催され、岡裕爾（㈱日立製作所理事）、山田信博筑波大学長、山口やちゑ茨城県副知事、本間源基ひたちなか市長、斎藤浩茨城県医師会長の各挨拶の後、和やかに懇談が行われました。

なお、本センターには既に4月1日から、寺島秀夫センター長のもと、寺本信嗣、林太智、頼冠甫の4名の医師が赴任されており、今後の発展が期待されます。



センター開所式で、くす玉を割る永井日立製作所ひたちなか総合病院長、本間ひたちなか市長、山口茨城県副知事、山田学長、五十嵐病院長、岡日立製作所茨城病院センタ長（左から）



筑波大学附属病院ひたちなか社会連携教育研究センターの看板の前に、五十殿人間総合科学研究科長、森本理事、五十嵐病院長、山田学長、岡日立製作所茨城病院センタ長、永井日立製作所ひたちなか総合病院長、大塚医学群長（左から）